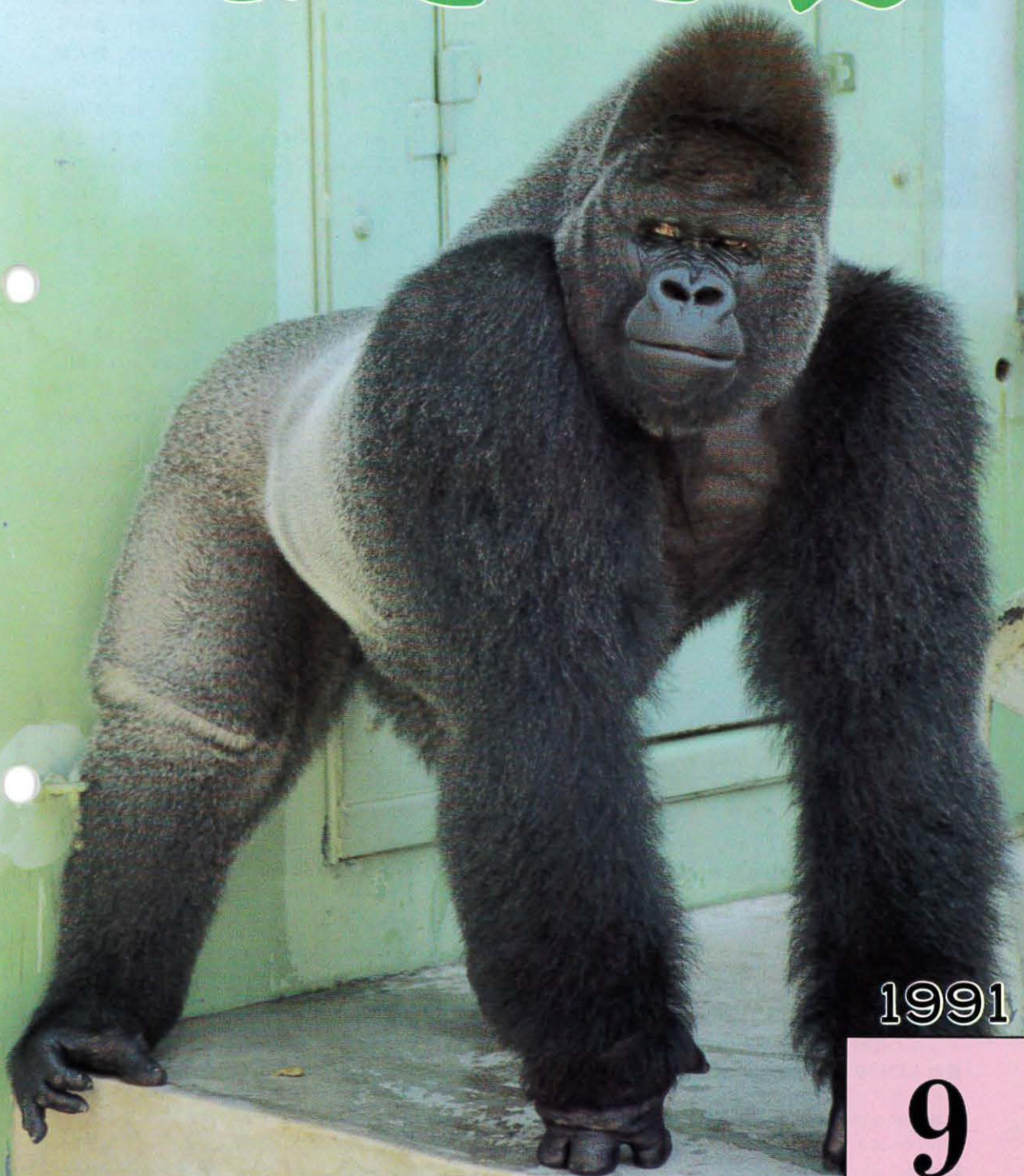




なきごえ



1991

9

八木 修



私は大阪の北の端、能勢町を拠点にして、各地の保育園や幼稚園、小学校を巡回してまわる移動動物園を行っています。動物好きはもとより、子供が大好きな仲間6名と一緒に活動しています。移動動物園と云っても想像しにくいかもしれませんが、簡単に説明すると、動物の種類も家畜と呼ばれるもの(ポニーやヤギ・ヒツジ・ニワトリ・ウサギ・アヒル等20種)が中心で、こちらから保育園や幼稚園、小学校にトラックで運び、園庭で子供達に直接ふれあってもらう動物園です。

“ネイチャーランド、こどもどうぶつえん”を始めて7年になりますが、毎日のように動物達と接していますし、能勢町は大阪と云ってもまだまだ自然がいっぱいで、野生の動植物と身近に接することが出来、楽しい毎日(?)を過ごしていますが、“動物と私”となると必ず思い出すが、中学生の時に飼っていたネコのことです。“ニャロメ”(当時はやっていたマンガの主人公。)と名づけたすてネコが居ついてしまったのですが、家族みんなが動物好きとあって、いつでも何かを飼っていたような気がします。今回の“ニャロメ”はなぜそんなに印象に残っているかと云うと、大きくなって自分で餌をとれる様になった時のこと、いつも私のふとんの上で寝ているのですがその夜、枕もとで何かゴソゴソしているのは気が付いていたのですが、いつもの様に知らんふりをして寝ていました。翌朝起きてみると、

ふとんの上で寝てはいるのですが、何か生臭いので見てみると、ネズミをつかまえて来ていて、私に見てほしいのか枕もとに置いてあるのです。さぞかし得意気になって見せびらかしたかったのでしょうか。その時ほめたのがいけなかったのか、それからと云うもの毎夜出かけてはつかまえて来るので、こちらもいい迷惑になってきて困りはてていた時、野犬駆除の為の毒餌か農薬に弱ったネズミを食べたのか、徐々に体が弱り、死んでしまいました。死にぎわも、私が学校から帰って来て声でも聞こえたのでしょうか。1m程とび上がらなければ中に入れないのですが、最後の力をふりしぼって来たのでしょうか。私の所に寄って来て、体をこすりつけては甘え、ひざに抱いてやるとすぐに息をひきとっていきました。生き物の死と云うのは、小さい時から悪ガキだったので、むごいことはたくさんしてきたはずですが、ニャロメの死はしっかりと今も記憶に残っています。その後、この仕事をしてからも、職場でネコを飼ったことがあるのですが、そのネコ(ニャンコピッチ)はヒミズ(小型のモグラ)をつかまえるのが上手く、よく見せびらかしに来ていました。

私の小さい時からの、動物や自然を通したかわりですが、現在の仕事に結びついているのかもしれませんが、社会問題化されている環境破壊についても大阪・能勢でも、ひとつとではなく始まっています。残り少なくなる自然をおしむより、みんなに自然のすばらしさを知ってもらいたいと、今後の活動として、5月から始めた遊びのサークル、“ネイチャークラブ”をつくりました。これは、能勢の自然を使って今まででしかなかった体験を、線に出来たらと思っています。そして、ガキ大将をつくり、子供達同士で遊びを含めた文化の伝承が出来れば、大きくなって自然の大切さをわかってもらえると思っています。今年は私がガキ大将になって、子供達と遊んでいきたいと思っています。対象は小、中学生ですが、リーダーとしてお手伝い下さる方がいれば、一緒にどうですか？

(ネイチャーランド こどもどうぶつえん)

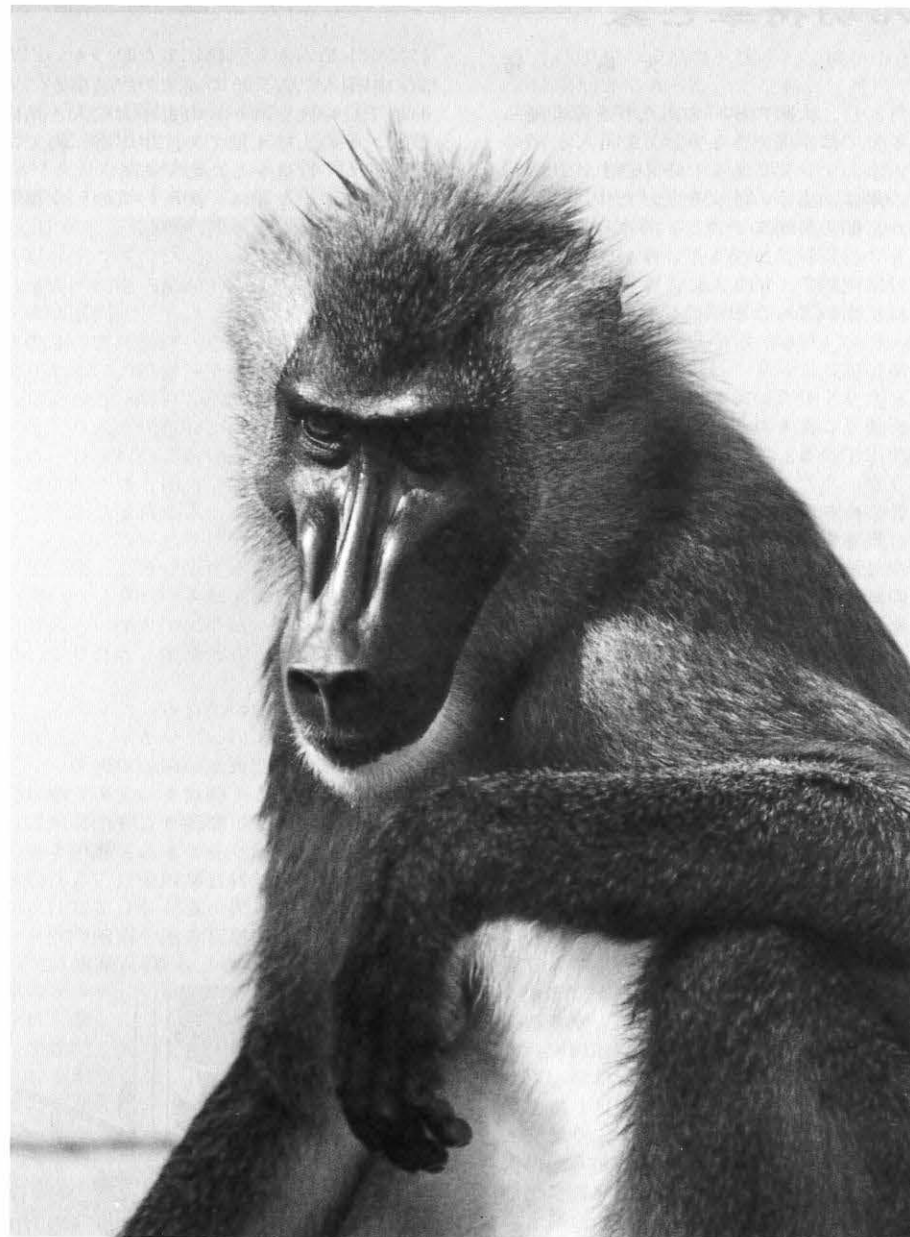
表紙の写真説明

“ローランドゴリラ” (Gorilla g gorilla) アフリカ中央部のカメルーンからコンゴ、赤道ギニアにかけて分布する、現生霊長類最大の動物です。オスはオトナになると背中から大腿部まで銀白色(シルバーバック)になります。写真はオスのゴロ、26歳

(撮影：宮下 実)

なきごえ9月号もくじ

動物と私 2
ドリルの花婿来園 3
暴れん坊将軍と象 4・5
サマースクール特集 6・7
動物園グラフ・動物園日記 8・9
キーパーズ・アイ 10
動物園ニュース 11



“ドリルの花婿来園”

当園での海外動物園とのブリーディングローン第1号として、2ヶ月前にドイツ、ウイヘルマ動物園からやって来た5才のオス。名前を「フレドゥル」といいます。これからの繁殖が楽しみです。

(撮影：中川 哲男)

大庭 脩

1729年4月20日、大阪の本町のあたりを象が通った。日本の年号では享保(きょうほ)14年で、時の将軍は徳川吉宗、テレビでおなじみの暴れん坊将軍である。この象は、吉宗の注文を受けた中国商人が、東南アジアから船で長崎まで運び、将軍にとどけるため、長崎を3月13日に出発して、歩いて江戸へゆく途中で19日は尾崎で一泊した。

この年7月に出版された浪華の狂歌師、油煙齋貞柳(ゆえんさい ていりゅう)の『家土産(いえづと)』という狂歌集には、

大象もまんちうくひたいその時か、
本町辺を通りこそすれ
という狂歌が出ている。本町辺にまんちゅうやがあったのだろうか。ただこの時のまんちゅうには、特別の意味もこめられていた。この象が長崎を出発するに先立ち、勘定奉行稲生下野守から途上の宿々に対してあらかじめ様々な準備の命令を出したのだが、その中に象の飼料として、竹葉、青葉、藁、そして



狂歌拾遺家土産の挿図

「あんなしまんちゅう」を用意せよと言っており、後にふれる御所の話にもこのまんちゅうがでてくる。勘定奉行のふれは叮嚀で、象が通る時、人が多勢で騒がしいと「象に障(さわ)り候えば如何(いか)か」とかと思うから、静かにせよ。飲水は清水だから、濁っていない水を準備せよ。道中の宿りは、ありきたりの馬小屋で苦しうないから、大ぶりな丈夫な馬屋を心掛けておけ。象が寝る時は敷わらを準備せよ、等などの指示をした上で、「但し見物に出候儀苦しからず候」、見物に出るのはかまわないといっている。京都の町では象が二三日居るので、もっと細かい。見物はかまわぬが静かにせよ。子供は後の方に置き、象が近寄っても騒いではいけない。辻で見物するのはいいが道筋へ出てはいけない。のれんは掛けるな。変った形の看板は引込めよ。牛馬を見ても、声を聞いても怒るから注意せよ。象のとう留中は、三町以内の寺院は法事の鳴物は止めよ。と大変なお達しである。これで前景気をあふる結果になったことは否定できない。

3月13日に長崎を出発、22日下関を通過し、4月18日兵庫、19日尾崎泊、20日大阪入り、25日伏見、26日には京都に入った。象が歩いている場所から5~600メートル先に村役人または町組がいて牛馬をのけたり、見物人を引込めたりして道筋を確保し、象

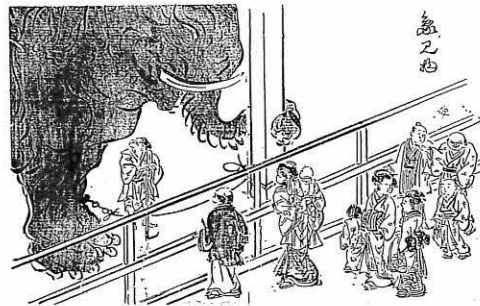
にはベトナムから一緒に来た象つかい二人、その通訳の中国人二人、その通訳の唐通事二人、というわけで長崎代官所からの責任者二人と結構多勢の人数が、その土地土地での庄屋年寄、町では組頭、惣代を加えて行進をしたのである。

京都についた象は、御所の東側、京都府立医大キャンパスの北にある清浄華院(しょうじょうけいん)にしつらえた小屋に入った。ここでしばらく居ることになったのは、靈元法皇、中御門天皇にお見せするためであった。ところが一つ問題があった。天皇に会うには身分が要る。無位無官のものが法皇や天皇に拝講できないのが封建時代のきまりである。そこで象は、「従四位広南の白象」という位持ちになる。

そして4月28日、宮庭に引き入れてまず天皇にお見せし、ついで法皇の宮にひいて行った。象は前足を折ってあいさつをし、出された酒を数斗一飲みにし、饅頭を百余、みかんを百個たちどころに平げた。みかんは鼻で皮をむいて食べたらしい。また、1mばかりの新竹をふみつぶした上、鼻にまき、かゆい所をかいたり、蠅をはらったりした。天皇や法皇も、お相伴にあずかった今出川大納言、高辻中納言、五条宰相などというお公卿衆も大喜びで、早速歌や詩が作られる。

ときしあれは他の国なるけだもの
けふこゝのへに見るぞうれしき
というのが中御門天皇の御製である。

こうして首尾よく御前をつとめた象は、4月28日京都を出発、大津、草津から守山、洲股、清須、岡崎、赤坂などと宿りをかさね、箱根を越え、小田原、藤沢、川崎を経て24日品川宿り、5月25日に江戸に到着、お浜御殿に入った。そして27日、江戸城に上り、吉宗は大広間車寄に出て桜田門からひいてきた象を見た。諸衆(つめしゅう)、高家(こうけ)、布衣



磯田湖竜斎の象見物の図

(ほい)以上の諸役人にも見物が許され、帰りは数寄屋橋御門を通し、御女中方も見物することができた。これから象は、当分お浜御殿に飼われることになるが、長崎から江戸まで、隠すことをせずに道中してきたことは、封建時代としては稀有の事件であった。高島春雄氏の『動物渡来物語』によると、日本に生きた象が渡来したのは、1408年、慶永15年に若狭国へ、また同年6月22日に若狭についた南蛮船から時の将軍足利義持へ黒象が献上された。義持はこの象を朝鮮国へ贈り、大藏経と交換した。その後、1574年、75年、1602年と渡来したので、この象は第

6回目に当たるというのが、日本国土の相当な範囲をまき込んだ大きなショウともいえるのは全く初めてで、そのためこの時の象は抜群に有名である。象の姿を絵にしたり、泥人形を作ったりして売るのがでてきて、大もうけをした者があるという。享保14年に出版された象に関する本を集めているが、出版されたことがわ



かっているだけで6種類あり、手もとは5種類がある。みな、享保14年、己酉の年の出版で、京、大阪、江戸、いわゆる三都で出版され、多分相当売れただろう。いずれも薄い

本でキワ物出版である。とはいっても、『詠象詩』という本は、京都堀川、伊藤東涯吉義堂塾で編纂した。この時塾主東涯先生を始め公卿衆や弟子筋の象を詠んだ詩集だし、『馴象編』は、江戸の林大学頭信充(のぶみつ)以下、林家一門の詩集である。象とはどんな動物かを書いた本には、『象志』・『象のみつぎ』・『靈象真珍記』・『馴象俗談』などがある。『象のみつぎ』には、今度長崎に来た子象は、母象とわかれを悲しんだが、日本は神国といって、けっこうな土地だと聞かされて、「親子ともに、よろこびいさむ事かぎりなく」別れに臨んで再びは悲しまなかつたなどと、ウッソーと言うような事まで書いてある。しかし我われは、江戸の人たちを笑うわけにはいかないだろう。おもちゃ売場にはパンダのぬいぐるみが山積され、『パンダのすべて』という本が売れているのである。珍らしい獣は何時の時代でも、みなのおもむところなのだ。

ところで江戸お浜御殿の象はその後どうなったのだろうか。1730年、享保15年6月末には、御用済みだから望みの者に与えろといひ、1741年になって中野村の農民源助にあずけられたが、1742年、寛保2年12月12日に病死した。その間、源助は、押立村平右衛門、柏木村弥兵衛と共に、淀橋で象酪、牛酪を売ったり(享保17年)、浅草蔵前旅籠町で象洞(ぞうほら)、白牛洞を売ったり、いろいろ象と関係のある商売をしていたが、どのような関わり方をしてたのか、十分明かにすることは難しい。象が死んでからは、象の骨と牙は源助に与えられ、それを見せ物にしたりしていたが、借金がかさなり、関係のある者の手を転々として最後は1779年(安永8年)

5月に中野の宝仙寺へ譲られて戦争中までその骨と牙は宝仙寺にあった。ただ戦災に遭って破損し、現在は断片が残っている由である。

日本人は象の姿を全然知らなかったわけではない。仏教では普賢菩薩が象に乗っている姿であらわれ、儒教では古えの聖天子舜が、幼時継母にいじめられて一人で田を耕やしているのを象が来て助けたといひ、いずれも神性を帯びた靈獣として、白象の姿であらわれ、普賢菩薩をのせる象は牙が3対6本、舜の象は2対4本あるとその神性が強調され、絵画や彫刻によって見る事ができた。吉宗も最初中国商人に象を注文した時は白象を注文したが、中国商人は灰色の象でないかと不可能であると答え、それが実現した。享保に象が来たのを見て、日本人はそれ迄の象の書き方がよくないことを知り、真象の姿を認識するようになったという。

ただ、その姿を描いたものは案外少なく、慶応義塾大学図書館所蔵『唐蘭船持渡鳥獸之図』という、長崎代官高木家に伝った御用伺の絵図の控の中に雄雌二象の図があるのがほとんど唯一のもので、そのほか、関西大学図書館蔵の伊藤東涯の賛のある、描者不明の素人画も同時代資料である。また、同図書館蔵の象潟屋清八発行のかわら版は、象が江戸に入る直前に売られたものと考えられる。私が、江戸で扱われた後、見世物になっている姿を描いたと考えている磯田湖竜斎の『混雑維草画』の象見物の図もおそらく同時代の物であろう。

西暦前

16世紀の中国、殷王の墓に象と象使の人間の骨が副葬されていたというが、珍獣を飼うことは王者の楽しみであった。徳川吉宗も、基本的には専制君主であるが、隠して運ぶには大きすぎる象であるとはいひ、上は天皇から下は庶民にいたるまで、珍獣を見る楽しみを与えたことは、暴れん坊将軍としてテレビに描かれる彼の一面に通ずるといへよう。それにしても私は、特権階級の独占物であった珍獣を安い入場料で誰にでも見せてくれる動物園こそ、民主主義社会の象徴であると思っ



ているのである。(関西大学文学部:教授)

17回目を数えるサマースクール。今年は、7月23日～28日の間、猛暑の中で開催されました。

ふだんは入園客には見ることも出来ない動物の寝室やエサ作りを見学し、真近に動物の体形や行動を観察、ときに触察し、習性を勉強しようと今回も小学校4年、5年、6年生あわせて180人の生徒が約4倍の応募者の中から抽選を受けて動物園へやってきました。



シマウマ達も子供達も、こんにちは！

今回は、各学年毎にテーマをもうけました。4年生は「草食動物と肉食動物」、5年生は「サルと夜行性動物」、6年生は「鳥類とは虫類」について2日間に渡り勉強しました。生徒の引率指導に活躍した2名のボランティアズの感想文をご紹介します。

井上直彦

7月23日から28日の6日間、3度目のサマースクールに参加しました。入ったばかりで不安や戸惑いの多かった1年目、班長となって新たな不安があった2年目が過ぎ、今年は少し余裕も出てきて気分良く迎えることが出来ました。とは言ってもまだまだ勉強不足な面も多く、正しい事を話せるかどうかという心配はありました。

始めてみると案の定、勉強不足がたまって質問されても答えられずキーパーさんに質問をするように言って逃げてしまうことも度々でした。しかし、このような教える者としての反省はありますが、何よりもまず生徒が楽しめる雰囲気を作ることが大切ではないでしょうか。私自身昭和57年、小学校6年の時に生徒としてサマースクールに参加しま



身を守るため体を丸くしたハリネズミを観察

した。その時に入った班が鳥の班で当時あまり興味がなかったため最初は気が乗っていませんでした。ところが昼休みにボランティアの人達と遊んだりしているうちに楽しくなってきたことを覚えています。今、鳥類が好きなのはこのサマースクールの影響も少しはあるのかも知れません。このようなことから今年は子供達と一緒に楽しむことを心がけました。これまでの2年、特に1年目は他のボランティアの人達が子供達と楽しそうにやっているのを見ながら、自分もとけこまないとはいけないと思う気持ちばかりでなかなか思い通りに出来ませんでした。しかし今年はそれなりに他の班員と共に楽しむことが出来ましたし、子供達の方も楽しんでくれたと信じています。

その甲斐あってか、あるいはこれだけが原因ではないでしょうが勉強も本当に頑張っていました。よく質問をしてくれたり、一生懸命メモを取っている姿を見ているとこっちももっと頑張らないといけないという気になりました。我が班は目立った動物が少なかったので楽しんでもらえるかと心配もしてい



エサ作りに挑戦だ。食べてくれるかな

ましたが、みんないきいきとして頑張っていたので安心しました。私の場合はこの思い出をたよりにボランティアとして動物園に戻って来ました。このサマースクールに参加した子供達にも、この思い出を大切にしてください。どこかで役に立ててほしいと思います。

(大阪動物園ボランティアズ15期生)

大竹孝

市政だよりボランティア募集の記事を見付けて、何気なく4月から活動に参加し、はや4ヶ月が経ちました。訳も分からずスポットガイドやサマースクール等の活動をこなして、私が胸を打たれたことは、天王寺動物園に入園して下さる皆様方やサマースクールに参加してくれる子供達が、勉強熱心であることです。特にサマースクールはボランティア側としても、動物園側としても力を入れている催しものであるから、子供達にとっても勉強のしがいのある内容であったと思います。サマースクールでは子供達に、ふだん動物園に入園しても見ることも出来ない裏側を見学してもらったり、動物に直接触れてもら

ったり、飼育係のおじさんのお話を聞いてもらったりしています。私は6年生の3班を担当し、3班では鳥類・爬虫類について勉強してもらいました。1日目の午前では、バードケージの中の鳥達のエサの説明で始まり、飼育係のおじさんのエサのやる所を見学して、ふ卵器の置いてある部屋に入り、卵の中の様子を観察して、バードケージの中に入りました。次いで、3班をAとBの2つに分けて、A班では猛禽類の特性であるペリットのすることについて、B班では鳥の羽についてそれぞれ勉強しました。午後では、1～3班共にビデオを見て、植物園のおじさんに食虫植物の説明をもらい、そして少し園内見学をし、第1日を終了しました。2日目の午前では、走



さすがにダチョウの卵は大きい！

鳥類の卵の計測で始まり、次いでペンギンの触察をして、そして爬虫舎の裏側に入ってアオダイショウの触察とヒョウモンガメの計測をしました。午後では、ラマとラクダとカンガールの展示場の内に入って、エサの説明や餌付けをしました。次いで、A班とB班が別々に勉強したことを学習のまとめとして発表し合っ、第2日を終了しました。これを3度



2日間の学習のまとめ。生徒も真剣です

繰り返して、3グループの子供達に勉強してもらいました。私は子供達と一緒に遊んだり、話をしたり、勉強したりすることが好きですから、サマースクールの準備ではたいへん苦労しましたが、飼育係のおじさんのお話を聞いたり、初めての体験をして、子供達が嬉しそうな顔をして帰っていった時には、お金で買うことのできないものの尊さを再確認させられました。

(大阪動物園ボランティアズ17期生)

アンケート結果

サマースクールに参加した子供達を対象にアンケート調査を行いました。

Q：サマースクールへの参加は誰が決めましたか？

- 1. 自分で決めた 91人 (51%)
- 2. お母さん 66人 (37%)
- 3. お父さん 16人 (9%)

Q：なぜサマースクールに参加しましたか？

- 1. 動物が好きだから 106人 (59%)
- 2. 勉強になるから 32人 (18%)
- 3. 友達に誘われたから 16人 (9%)

Q：サマースクールに参加したのは何回目ですか？

- 1. 1回目 144人
- 2. 2回目 13人
- 3. 3回目 1人

Q：サマースクールは楽しかったですか？

- 1. 楽しかった 137人
- 2. ふつう 16人

Q：テキストの内容はむづかしかったですか？

- 1. ちょうどよい 104人
- 2. やさしい 40人
- 3. むづかしい 10人

Q：一番おもしろかったこと？

- 1. エサを作ったり、動物に触れたこと。
- 2. ふだん入れない動物舎の裏側を見た。
- 3. いろいろな動物を観察できた。



カバ君の鼻、みんなで触ればこわくない

Q：どんなサマースクールがあったらよいですか？

- 1. 動物とのふれあい 84人
- 2. 動物の世話 81人
- 3. 動物の観察、説明 9人

Q：楽しかった学習(動物)は何ですか？

[草食動物と肉食動物]

- 1. サイ、キリン
- 2. ライオン、カバ

[サルと夜行性動物]

- 1. サルハウスのサルたち
- 2. オランウータン

[鳥類とは虫類]

- 1. ペンギン
- 2. ヘビ類



ベニイロフラミンゴ
今年は10数年ぶりにひなが生まれま
した。数多く巣作りや産卵がありま
したので、来年はもっと多くのひな
が見られるでしょう。

動物園グラフ

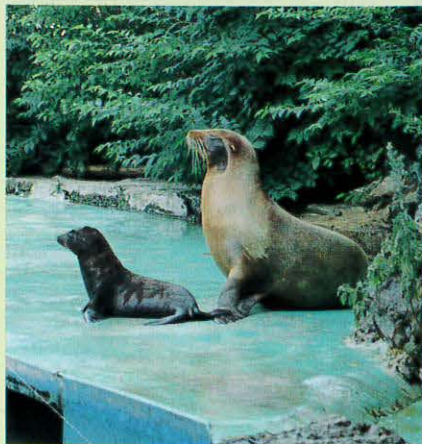
“秋の動物園も 赤ちゃんがいっぱい”

毎年春先から、5月頃までは動物園では、誕生ラッシュでにぎやかですが、今年は梅雨から夏にかけても、いろいろの動物たちの誕生があり、みんな元気に育っていますので、秋の動物園もこんな赤ちゃんたちと出合っただけなのでしょう。

(飼育課：樽本 勲)



タンチョウ
新しいペアのタンチョウが2羽のひなを育てました。7月に入ってからこのふ化は大変遅い記録となりました。これで今年4羽のひなが育つことになると思います。



カリフォルニアアシカ
今年も2～3頭の出産があるだろうと思っておりましたが、1頭のみでした。でも元気に育っています。



ヒョウ
2ヶ月あまり母親のお乳を飲んで大きくなっていましたが、8月中旬から屋外展示場で父親とも同居して、じゃれているのが見られます。

7月の動物園日記

- 7/2. タンチョウが1羽孵化しました。オシドリが1羽孵化しました。本日より天王寺公園の夜間開園を始めました(8月31日まで)。
- 7/3. オシドリが3羽孵化しました。
- 7/4. タンチョウが1羽孵化しました。オシドリが6羽孵化しました。
- 7/5. シシオザルの“ノエル”が雌の赤ちゃんを出産しました。ドイツのウイルヘルマ動物園からブリーディングローンとして借り受けたドリルの雄が到着しました。

- 7/6. ハシビロガモが1羽孵化しました(当園初)。
- 7/7. コンドルの繁殖をはかるため横浜市野山動物園の雌と当園の雌との等価交換が成立し雌が出園しました。ハシビロガモが1羽孵化しました。
- 7/9. オシドリが3羽孵化しました。
- 7/10. オシドリが3羽孵化しました。ニホンザルが1頭生まれました。クロネズミヘビが1頭孵化しました。
- 7/11. オシドリが1羽孵化しました。レアが1羽孵化しました。クロネズミヘビが1頭孵化しました。
- 7/15. ニューゼーランドのレインボウ・スプリングス動物園からキウイの雌“ブクヌイ”



ダチョウとレアのひな
去年、久しぶりに人口ふ化に成功したダチョウは、今年も3羽がふ化したのですが、うち1羽が元気に育っています。また、レアもふ化しかわいい姿を見せています。



ブラッサグェノンとシシオザル
サル舎では、今年も多くのサルたちに赤ちゃんが生まれました。シシオザルは稀少種で、各園と協力して繁殖をしているだけに、赤ちゃんの誕生は大変うれしいことです。また、ブラッサグェノンに2頭目の赤ちゃんが生まれにぎやかになりました。この他、オマキザルや、マントヒビにも赤ちゃんが生まれておりサル舎は大変にぎやかです。

- 7/16. 来園したキウイの贈呈式をロトルア市長らの列席のもとに行いました。第8回日本動物園水族館協会種保存委員会コアラ部会を当園で開催し7園18名の方が参加されました。ショウガラゴが1頭生まれました。
- 7/17. ワライカワセミの雌(6月11孵化)が巣立ちました。
- 7/18. 戦争展に戦時中犠牲になったライオン、ヒョウの剥製を貸し出しました。
- 7/19. ドリルの雄(7月5日来園)を一般公開しました。
- 7/21. 第75回動物のお話とスライドの会で西田係員が保護動物のお話をしました。
- 7/22. サンディエゴ・シーワールドの元鳥類課長スコット・ドレイシュマン氏がご夫妻で来園されました。キリンの仔「リシタロウ」を動物商に払下げました。
- 7/23. 第17回動物園サマースクールが開講しました。(7月28日まで)
- 7/29. ヒョウの赤ちゃん(5月29日生)のワクチン接種を行いました。雌の出産のため隔離していたマントヒビの雄を展示室に戻しました。
- 7/31. ブラッサグェノンが1頭生まれました。

♪♪歯切りのワタシ♪♪

当園では、雄・雌1頭ずつのカバを飼育しています。雄は8才で「テツオ」、雌は19才で「ナツコ」といいます。テツオはナツコの息子であります。2人(2頭)は、たまに親子げんかもありますが、普段はとても仲むつまじい親子であります。

私がカバを担当して間もなく、テツオの下の歯(犬歯)が少しずれて伸び続けていることに気がきました。これは、以前に歯が折れ、その時点から違った方向に伸びてきたらしいのです。口を閉じても横から歯が出るようになり、これでは、せっかくの美男子(美男カバ)が台無しであります。それだけでなく、エサを食べる時には、うまく上の歯と咬み合いません。普通なら上下の歯の噛みあわせと摩擦により、変に伸び続けるのを防ぐのですが、このままでは、出っ歯も出っ歯、カバ版「明石家さんま」になってしまいます。

以前に名古屋市東山動物園で今回と同じ様に、カバの伸び続けた歯を毎日ヤスリで少しずつ削っているという話を聞きましたが、私と獣医は“出来るだけ早く削れて、カバにストレスを与えない方法はないか”と相談したすえに思いついたのが、「ノコギリで切ってしまう」という、いたって簡単な考えでした。言うのは簡単なのですが、最初からうまくできるはずがないことは、わかっていました。と言うのは、歯は、体の中で最も固いものだからです。ですからノコギリも金属用のものを使用しました。

それでは、そのやり方をお話します。

テツオは、ナツコよりも人なつっこく、結構人に慣れています。私がカバ舎へ入り、プールに入っている



伸びすぎた歯の診察風景

るテツオにホースで水をかけてやると喜んで口を開け、私の方に身を乗り出してくれます。その一瞬のスキを狙って獣医がノコギリで歯を切るという方法で1日10分程度行ないました。最初は、1回ノコギリを引くと響くのか、嫌って水中にもぐってなかなか顔を出してくれませんでした。時には、リンゴを持って行き、口を開けさせ、すぐにリンゴを口に入れて、じらしながら少しでも長く口を開けさすようにしました。毎日の奮闘の結果、日増しに慣れてきたのか30秒以上も平気で口を開くようになりました。この光景をお客さんは楽しそうに見ていますが、あの大きな口の中に手を入れる私達は少しの油断も許せぬ作業でした。

そしてある日のことでした。カバの歯が折れずにノコギリの歯が折れてしまいました。ノコギリの歯のスペアがなかったので一時中断となりましたがその時はすでに行程削れていました。

ところが翌朝、テツオは、元の美男子に戻っていました。私達が毎日削っていた歯が自然に折れたようです。どこかに歯をぶつけたのか、エサを食べていて歯が折れたのかどうかは、テツオに直接聞いてみないとわかりませんが……。

“折れ方”によっては、あと、“ちゃんと平らになるように削ってあげなくては”と思っていましたが、その心配もなく、その折れ方は、たいへん美しく、手で触っても1つの引っかかりもないぐらいでした。

しかし、この間、テツオも相当嫌だったのか、ストレスがたまったのか、ナツコや私に八つ当たりした日もありました。

人間も歯医者へ行くのが嫌いなのも同じで、カバもやはり歯の治療は苦手なのでしょうか？

(飼育課：松下 達夫)



§ ドリルのオス来園と一般公開

当園のドリルは、一昨年にオスが急死して以来、その相方であった成獣のメス1頭のみとなっていました。そこで、繁殖を計るべく、新しいオスを求めていたところ、ドイツのウイヘルマ動物園より、繁殖契約(ブリーディング・ローン)で借り受けることができることになったものです。

7月5日に来園したオスのドリルの名前は“フレドゥル”。年齢は5才ということで、完全な大人になるためにはあと1~2年はかかりそうです。検査終了後は当園の13歳になるメスと寝室で10日間にわたって見合いをさせていましたが、7月17日に同居させました。その後も全くドイツから来園したドリルのオス問題なく順調で、19日には一般公開となりました。



ドリルは西アフリカに生息するオナガザル科に属するサル仲間ですが、野生での生息数が少なく絶滅の危機が叫ばれている動物の1つです。

日本ではわずか9頭、世界でも50頭程しか飼われていない希少種ですから、よりはやい繁殖を期待したいものです。

§ キーウィのメスの寄贈

キーウィは、日本では当園にしかない夜行性の飛べない鳥です。1970年の日本万国博覧会を記念してニュージーランド政府から一番をいただ



同行したレインボースプリングス動物園が飼っていたわけで、やっとこの度念願の花嫁をむかえることができました。7月16日に来園したのはニュージーランド北島のレインボースプリングス動物園でふ化した今年10月で3歳になる“ブクマイ”です。現在、キーウィ繁殖室で、当園にい

てニュージーランド政府から一番をいただいて以来、キーウィの飼育は、すでに21年に至りました。しかしながら、この間2回にわたり4羽のキーウィの寄贈をうけたものの、唯一のメスが死亡したりで、繁殖に至らず今回のメスをいただくまで、数年オスだけの飼育が続いていたわけで、

現在の飼育動物園

(平成3年7月31日現在)

哺乳類	100目	441種	12点
鳥類	178目	838種	20点
爬虫類	30目	67種	3点
合計	308目	1346種	35点

るオス“キョト”とお見合中です。

§ ホッキョクグマに氷柱のプレゼント

恒例の「ホッキョクグマに氷柱のプレゼント」が今年も7月23日に行われました。



大きな氷の塊に大喜びの親子

この行事は夏の暑さが最も厳しくなるといわれる暦の「大暑」の日に開かれているものです。運動場に出た昨年11月生まれの“みゆき”は生れてはじめての氷柱にとまどいと恐れで、最初は何気なくふれたものの、その後は近寄らずほえるのみで、報道陣の前に親子のほほえましい涼気満点な写真は仲々とらせてくれませんでした。

§ 第17回サマースクール開催

今年で17回目のサマースクールが、7月23日から6日間にわたり開かれました。このサマースクールは、動物の観察や飼育係の仕事の体験を通して、動物愛護の意識を高めていただくとともに、情操教育の一環としても役立つと、1975年から、小学生4、5、6年生を対象に実施しているものです。今年には508名の応募者の中から180名が抽選で選ばれ、実際には174名の小学生がこのサマースクールに参加しました。



カバの前で飼育係のおじさんから熱心に説明を聞く生徒たち

うと、1975年から、小学生4、5、6年生を対象に実施しているものです。今年には508名の応募者の中から180名が抽選で選ばれ、実際には174名の小学生がこのサマースクールに参加しました。

◎ お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
 - 10月20日(日) カンガールのガイド
 - 11月17日(日) トラのガイド
 - 12月15日(日) 動物園裏側ウォッチング
- 時間：午後1時~2時
- 場所：ガイドは各獣舎前
- 他はレクチャールーム

◎ テレフォンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。電話番号 771-9999

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間とは？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしか いかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしか いかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

室内装飾設計施工・バラエティ雑貨卸

1st ファースト商会

〒559 大阪市住之江区平林南1丁目2番57号
ヘッドビル202号
TEL 06-686-4033 FAX 06-686-4032

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400



ピントが合いやすいフィルムです

カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・千不要

《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

天王寺動物園の本 入園の記念・手引に……

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

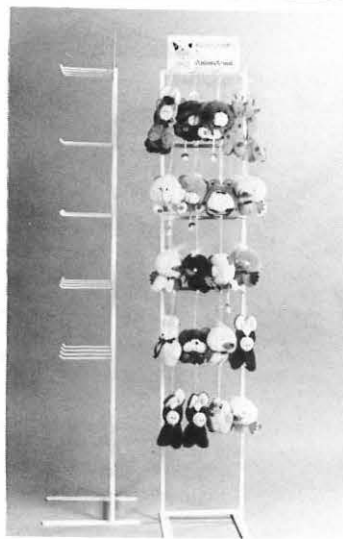


コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

オールカラー
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

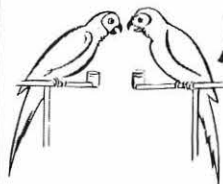


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

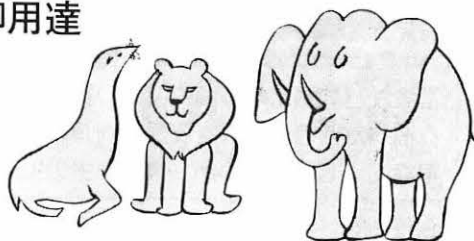
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

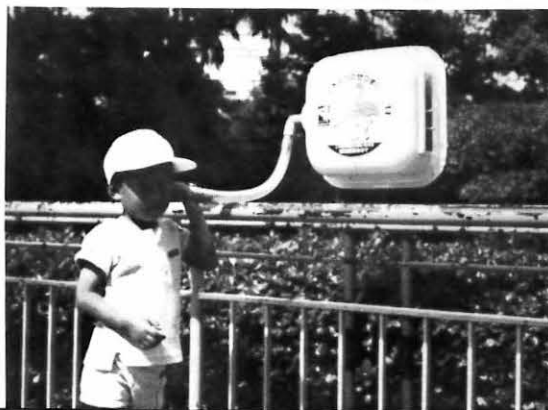


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

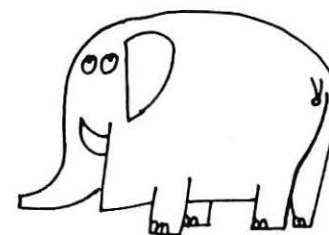
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

つわりゼリー
とってもゼリー



一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1991年9月10日発行(毎月10日発行)第27巻 第9号 (通巻313号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共) 振替口座 大阪3-3 7 8 2 3

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 7 7 1-0 2 0 1

編集委員 (中山良三郎 / 村上 昭 / 中尾啓一 / 樽本 勲 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 山根和弘 / 大谷直樹 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 柳原安昭)
森本委利 / 竹田正人 / 永田健一 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 健 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 土谷正道 /